

令和6年度 第3四半期（2024年10月～12月）景況動向調査結果

十和田商工会議所 中小企業相談所

1. 調査対象

(1)対象企業数 十和田商工会議所会員 25 事業所

内訳:建設業、製造業、卸売業、小売業、サービス業 各 5 事業所

(2)回答企業数 有効回答=24 事業所(回答率 96%)

2. 調査対象期間

今期=2024年10月～12月

- ・前年同月比=前年同期(2023年10月～12月)と比べた今期の状況
- ・前期比=前期(2024年7月～9月)と比べた今期の状況
- ・先行き見通し=今期と比べた来期(2025年1月～3月)の見通し

3. 調査期間 2024年12月12日～12月24日

4. 表示方法

本報告書中の「DI」とは、「ディフュージョン・インデックス、景気指数」の略で、各項目について、「上昇・増加」と回答した企業の割合から「下降・減少」と回答した企業の割合を引いた数値である。

DI値が0より上の場合=景気は上向き

DI値が0の場合 =景気は横ばい

DI値が0より下の場合=景気は下向き

5. 調査項目ごとの状況

(1) 業況DI

業況DIの現況判断は▲33.3で、業種別にみると「小売業」が0.3で最も高く、「サービス業」が▲20.0で続いている。

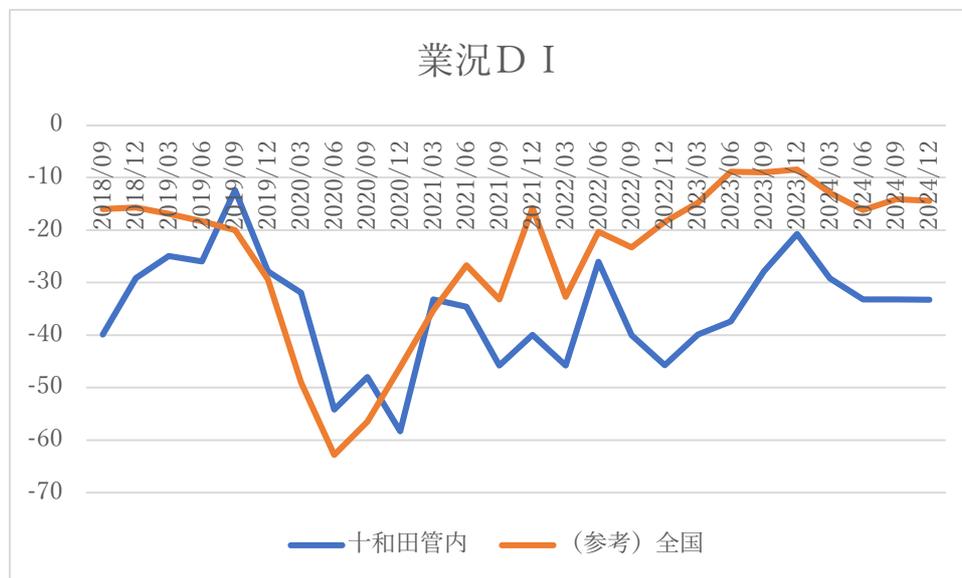
先行きは4.2p悪化の▲37.5で、業種別では「卸売業」で改善、「建設業」「小売業」で悪化となっている。

図表1 業況DI

	2024年 7~9月期 (前回調査)	前期比	2024年 10~12月期 (今回調査)	前期比	2025年 1~3月期 (先行き)	今期比
全産業	▲33.2	→	▲33.3	↘	▲37.5	↘
建設業	▲19.8	↗	▲60.0	↘	▲80.0	↘
製造業	▲40.0	→	▲40.0	→	▲40.0	→
卸売業	▲60.0	→	▲39.8	↗	▲20.0	↗
小売業	▲24.8	→	0.3	↗	▲25.0	↘
サービス業	▲19.8	↘	▲20.0	↘	▲20.0	→
(参考)全国全産業	▲14.1	↗	▲14.4	↘	▲17.1	↘
(参考)東北全産業	▲22.5	↘	▲20.7	↗	▲23.9	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)



(2) 売上高DI

売上高DIの現況判断は▲37.3 で、業種別にみると「サービス業」が 0.4 で最も高く、「卸売業」が▲20.0 で続いている。

先行きは0.1p悪化の▲37.4で、「建設業」「製造業」で改善、「小売業」「サービス業」で悪化となっている。

図表2 売上高DI

	2024年 7~9月期 (前回調査)		2024年 10~12月期 (今回調査)		2025年 1~3月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲28.9	↗	▲37.3	↘	▲37.4	↘
建設業	▲39.8	↗	▲100.0	↘	▲80.0	↗
製造業	▲40.0	↗	▲40.0	→	▲20.0	↗
卸売業	▲39.8	↗	▲20.0	↗	▲20.0	→
小売業	▲24.5	→	▲24.5	→	▲49.8	↘
サービス業	0.6	↗	0.4	↗	▲19.6	↘
(参考)全国全産業	▲3.3	↗	▲0.4	↗	▲8.9	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (増加の回答割合) - (減少の回答割合)

(3) 採算DI

採算DIの現況判断は▲37.4 で、業種別にみると「卸売業」が▲19.8 で最も高く、「サービス業」が▲20.0 で続いている。

先行きは8.4p悪化の▲45.8で、「卸売業」「小売業」で悪化、その他の業種で横ばいとなっている。

図表3 採算DI

	2024年 7~9月期 (前回調査)		2024年 10~12月期 (今回調査)		2025年 1~3月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲45.8	→	▲37.4	↗	▲45.8	↘
建設業	▲19.8	↗	▲60.0	↘	▲60.0	→
製造業	▲40.0	→	▲60.0	↘	▲60.0	→
卸売業	▲60.0	↗	▲19.8	↗	▲40.0	↘
小売業	▲24.8	↗	▲24.8	→	▲50.0	↘
サービス業	▲80.0	↘	▲20.0	↗	▲20.0	→
(参考)全国全産業	▲16.4	↗	▲14.7	↗	▲17.4	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

(4) 資金繰りDI

資金繰りDIの現況判断は▲29.2で、業種別にみると「小売業」が0.0で最も高く、「卸売業」「サービス業」が▲20.0で続いている。

先行きは横ばいの▲29.2で、「製造業」で改善、「建設業」で悪化となっている。

図表4 資金繰りDI

	2024年 7~9月期 (前回調査)		2024年 10~12月期 (今回調査)		2025年 1~3月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲8.3	↗	▲29.2	↘	▲29.2	→
建設業	0.0	↗	▲40.0	↘	▲60.0	↘
製造業	▲20.0	↗	▲60.0	↘	▲40.0	↗
卸売業	0.0	→	▲20.0	↘	▲20.0	→
小売業	▲25.0	→	0.0	↗	0.0	→
サービス業	0.0	→	▲20.0	↘	▲20.0	→
(参考)全国全産業	▲11.1	↗	▲10.0	↗	▲11.6	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

(5) 仕入単価DI

資金繰りDIの現況判断は▲75.0で、業種別にみると「建設業」が▲40.0で最も高く、「小売業」が▲75.0で続いている。

先行きは4.2p改善の▲70.8で、「卸売業」で改善、その他の業種で横ばいとなっている。

図表5 仕入単価DI

	2024年 7~9月期 (前回調査)		2024年 10~12月期 (今回調査)		2025年 1~3月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲70.8	↗	▲75.0	↘	▲70.8	↗
建設業	▲60.0	↗	▲40.0	↗	▲40.0	→
製造業	▲80.0	↗	▲100.0	↘	▲100.0	→
卸売業	▲80.0	↗	▲80.0	→	▲60.0	↗
小売業	▲75.0	→	▲75.0	→	▲75.0	→
サービス業	▲60.0	↗	▲80.0	↘	▲80.0	→
(参考)全国全産業	▲63.4	↗	▲66.1	↘	▲54.4	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

(6) 従業員DI

従業員DIの現況判断は0.2で、全ての業種でやや不足となっている。

先行きは0.1p改善の0.3で、「卸売業」で改善、その他の業種で横ばいとなっている。

図表6 従業員DI

	2024年 7~9月期 (前回調査)		2024年 10~12月期 (今回調査)		2025年 1~3月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	0.2	↘	0.2	→	0.3	↗
建設業	0.2	→	0.4	↗	0.4	→
製造業	0.0	↘	0.0	→	0.0	→
卸売業	0.2	↘	0.2	→	0.6	↗
小売業	0.0	→	0.0	→	0.0	→
サービス業	0.4	↘	0.2	↘	0.2	→
(参考)全国全産業	22.1	↗	22.2	↗	22.3	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

6. 業況感等に関する自由記述

コメント	業種
燃料の高騰が近いうちに響いてくると思う。	建設業
製品在庫が多かった。	小売業
人件費高騰に見合う利益確保が困難。	サービス業
ここ数か月は、昨対±0ぐらいが続いているが、様々なものが値上がりしているため、利益減少につながっている。	サービス業